



クラスだより



No. 17

ナーサリー にじいろ♡まむ

すくすく組

生後間もない赤ちゃんの視力は、近くのものが見えやすい程度で臭いや声・感触で相手を認識する事が多いです。顔を近づけて見つめ合い優しい声で沢山話しかけたり、歌をうたってあげたりしています。

又、月齢が上がってくると小さいながらも大人の反応を見ながら『ちゃんと見ていてくれる』という安心感で色々な事にチャレンジして探索行動が活発になってきています。『試し行動』が見られるようになり “やっではいけないこと” “不安な気持ち” を表情や行動から汲み取り、言葉で伝えながら関わっています。

よちよち組

保育園では、折りに触れ沢山の歌やリズム遊びを楽しんでいます。ピアノの前奏で“待ってました！”とばかりに立ち上がり両手・両足、お尻もフリフリ…全身で“歌”を表現しています。言葉の発達は、個人差があり、すでに何となく言葉になっていたり頭では理解しているが発声できていなかったりしますが、今後も沢山の声かけや歌・絵本の読みきかせ・カード遊びなどで右脳（映像脳）を刺激して、さらに左右の脳を繋ぐ連結回路も育てていきます。

わくわく組

園での生活が自立し始めて、自分で出来る事が多くなっています。できない事も保育者と一緒に繰り返し挑戦していますので、ご家庭でも定着するように根気よく続けてください。

また、最近は自我の成長と共に、保育者に指摘されると言い返してきたり、ふてくされたりと納得できていない仕草や表情が見られます。お家では、お子さんの言いなりになってはいませんか？言いなりにばかりになっていると、子どもが優位な立場になり、大人の言うことは聞かなくなってしまうかもしれません。子どもは、大人に守られて育っていることを伝えながら関わっていきます。